



キッチンから、笑顔をつくろう

[エコナップ] 2013 環境報告書 ダイジェスト

econup

- クリナップの環境への取り組み
- 環境配慮型商品の開発
- 2012トピックス



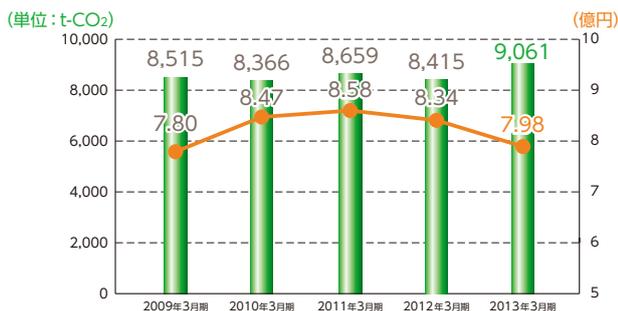
[クリナップの環境への取り組み]

クリナップは事業活動を通じて、環境負荷低減や地球温暖化防止のため、CO₂削減とゼロエミッション※¹の実現および省エネの推進等に取り組んでいます。

■ クリナップのCO₂排出量と原単位推移

2012年度の結果は、2011年度と比較しますとCO₂排出量は電気、燃料とも総量は増加していますが、原単位は減少しています。これは生産台数の増加によるものです。

電気使用に伴うCO₂排出量と原単位推移グラフ (単位: t-CO₂ / 売上高)



❗ 電気のCO₂排出係数は0.378kg-CO₂/kWhを使用。

燃料使用に伴うCO₂排出量と原単位推移グラフ (単位: t-CO₂ / 売上高)



■ ゼロエミッションへの取り組み

クリナップの製造プロセスで発生する産業廃棄物は85%が木くず、12%が廃プラスチック類、残りの3%はその他が占めています。ゼロエミッションへの取り組みによって、現在の再資源化率は

98.7%を達成していますが、今後も再資源化率が向上するよう努力していきます。

木くずの再資源化処理推移グラフ (単位: t)



廃プラスチックの再資源化処理推移グラフ (単位: t)



その他の廃棄物※²の再資源化処理推移グラフ (単位: t)



※¹ ゼロエミッションとは、環境負荷を低減するために廃棄物(emission)をゼロにすることです。生産段階での廃棄物を減らすだけでなく、再資源化率を向上させています。

※² その他の廃棄物とは、ガラス・陶磁器くず、金属混合物、廃油、汚泥等です。

【地球温暖化防止】

地球温暖化を防止するために、クリナップはCO₂使用の削減に努めてきました。これらの取り組みはクリナップグループに定着し、大きなCO₂削減効果をもたらしています。現在でも継続して取り組んでいる内容を紹介します。

■ 本社ロビーの照明をLEDに交換

2011年に本社A棟1階ロビーと執務室の照明をLED照明に交換しました。交換後、照明の使用電力量は交換前に比べて約35%の削減効果が見られております。今後、他のフロアについてもLEDの導入を検討してまいります。

● A棟1階蛍光灯電気使用量実績一覧

単位：kwh

	12月	1月	2月	3月
平成22年度実績(交換前)	619.1	610.9	642.9	803.8
平成23年度実績(交換後)	537.8	416.6	443.8	503.1
差	-81.3	-194.3	-199.1	-300.7
増減率	-13.1%	-31.8%	-31.0%	-37.4%



LED照明に交換

※12月中旬に交換工事実施

■ 本社南面のガラス窓に遮熱フィルム

LED照明の導入とともに、本社ビルの南側の透明ガラス窓に遮熱フィルムを施工しました。夏の部屋の温度上昇の原因は、窓から室内に差し込んでくる太陽の熱です。遮熱フィルムは、太陽の陽射しを、約

40%以上カットして室内の温度上昇を抑えます。夏に効果が期待される遮熱フィルムですが、冬にも有効性を示しており、冷暖房の空調費削減の効果が出ています。



本社リフレッシュルームの窓

■ 体育館を断熱塗装

いわき市にあるクリナップ井上記念体育館を2012年1月30日に断熱塗装しました。塗装前のガラス表面温度は1.0℃でしたが、塗装後は6.3℃となりました。照明を含む電気使用料を約10%削減し、大きな省エネ効果を得ることができました。



塗装前、ガラス表面温度

塗装後、ガラス表面温度



ガラス窓の遮熱・断熱塗料の塗布を施工した体育館

■ 環境省「緊急CO₂削減・節電ポテンシャル診断」を実施

工場やビル等における効果的なCO₂削減・節電対策を支援する環境省「緊急CO₂削減・節電ポテンシャル診断」を、四倉工場、鹿島システム工場、鹿島工場、湯本工場、鹿島アート工場、野田工場、いわ

き部門を対象に2012年1月～6月に実施しました。その結果、約1,300トンのCO₂削減の方策があることがわかりましたので、経済的な面も含め実施可能な範囲で順次導入を図りたいと考えています。



環境省による診断

■ 環境配慮型パソコンサーバに刷新

クリナップは、業務システムの中核を担う全国129の事業所やショールームの拠点サーバ158台を137台に集約し、最高水準の低消費電力と省スペースを実現した環境配慮型パソコンサーバに

2009年12月から2010年3月までの期間で全て刷新しました。

これにより年間のCO₂排出量を従来の3分の1、181トンの削減に成功しました。



富士通の環境配慮型PCサーバ
[PRIMERGY TX120 S2]

■ 営業車の軽自動車への切り替え

クリナップは全国で保有する営業車の内、2011年度から軽自動車への切り替えを開始しました。1台あたりの省エネ量は年間の走行距離を全国平均

の22,800キロメートルと仮定して計算すると年間550リットル／台のガソリンを節約しています。



営業車として採用している軽自動車

【環境配慮型商品の開発】

クリナップは製品開発において環境への配慮に努め、省エネ性能はもちろんのこと、リサイクル性、長寿命、快適性を向上させた製品を開発しています。

■ 厨房機器

キッチン家族とのコミュニケーションの場所であると同時に、家族のためにおいしい料理をつくる場所。クリナップは、「料理」だけでなく「食」そのものにもきちんと向きあい、キッチンを原点から見つめていきます。

■ システムキッチン

クリナップがシステムキッチンでこだわっているのはステンレスという素材です。ステンレスは衝撃、熱、湿度、温度に対して強靱であり、錆びにくく清潔です。また80%以上のリサイクル率を誇るエコ素材なのです。



- ・解体しやすいシンプル設計でリサイクルを推進
- ・健康面での影響を配慮し、接着剤の使用を極力抑えた低VOC仕様
- ・全体の重量が従来より約50%軽く、輸送時のCO₂を削減（当社比：木製キャビネットと比較）

▲ S.S.

キッチンの原点であり、頂点でもあるのが、Stainless System Kitchen S.S.です。タフ、クリーン、クオリティ、エコという4つのコンセプトが結実しています。

▲ グリンレディ

見えない部分まで上質のステンレス素材を使い、清潔、長寿命、エコロジーを実現したのがグリンレディ。ワンランク上のキッチンを身近にした製品です。



木製キャビネットでリサイクルできなかったキッチンをステンレス製の「ecoキャビ」にすることでクリナップは地球環境に貢献していきます。

● CS 環境性能を極限まで追究したステンレス製キャビネットが、システムキッチンCSです。木質系集成材が使用されることの多いキッチンカウンターの裏面の補強材を、全てステンレスで製作しました。

接合は溶接とビス止めで行い、接着剤を使用しておりません。樹脂部品を可能な限り少なくし、VOC（揮発性有機化合物）の放

量を減らしました。

また吊戸棚やカウンター裏面に木質系集成材を使用せず、有害な化学物質の発生を抑え、化学物質過敏症の方に配慮しています。

永く快適にご愛用いただくための工夫は、当社のステンレス加工技術により実現しました。廃棄時にリサイクルしやすく、人と地球にやさしいキッチンです。

使いやすい
ステンレスパイプ製のまな板立て

コーキング処理を
不要とする三方上りの
バックガード

● キッチンカウンターの裏面
キッチンカウンターの裏面の
ステンレス補強



ステンレス製排水トラップセット

通常樹脂や塩化ビニールで作られていることが多い排水トラップセットもステンレス製を採用しています。

※排水フタ、アミカゴ、漏水防止パッキン等の一部樹脂部品あり



浴槽機器

バスルームは、心地よい笑顔が生まれる場所。だからドアを開けた第1歩目から、入浴後に次の方が入るまで、すべてのシーンでの快適な空間づくりをめざしています。

■ システムバスルーム

■ アクリアバス

業界トップクラスの「保温性」、「安全性」に、お客様ニーズが高い「清掃性」を加えたアクリアバス。洗い場と浴槽の浴室全体があたたかく、キレイと安心感で、家族みんなの笑顔があふれる、至福の浴室をお届けします。

さらに、クリナップ独自の透明感のある人工大理石「アクリストーンクォーツ」を、浴槽や洗面器置きカウンターにお選びいただけます。美しさと強さを兼ね備えた人工大理石を使用した浴室は、毎日の入浴をより豊かにしてくれます。



環境・家計にやさしいアクリアバスのECOアイデア



浴室まるごと保温【標準】

- ▶ CO₂ 69kg削減
 - ▶ 年間4,015円の節約
 - ▶ ガス代：-4,015円
- ※在来浴室と比較して



保温浴槽【標準】

- ▶ CO₂ 67kg削減
 - ▶ 年間4,759円の節約
 - ▶ ガス代：-4,759円
- ※在来浴槽 (320ℓ) と比較して



床夏シャワー【標準】

- ▶ CO₂ 101kg削減
 - ▶ 年間4,166円の節約
 - ▶ 水道代：+1,161円
 - ▶ 電気代：-8,028円
 - ▶ ガス代：+2,701円
- ※浴室換気乾燥暖房機と比較して



蛍光球照明【標準】

- ▶ CO₂ 24kg削減
 - ▶ 年間1,349円の節約
 - ▶ 電気代：-1,349円
- ※白熱球壁付け (2灯) と比較して



LED球【オプション】

- ▶ CO₂ 53kg削減
 - ▶ 年間3,058円の節約
 - ▶ 電気代：-3,058円
- ※白熱球ダウンライト (4灯) と比較して



タッチ水栓【オプション】

- ▶ CO₂ 244kg削減
 - ▶ 年間24,340円の節約
 - ▶ 水道代：-8,241円
 - ▶ ガス代：-16,099円
- ※2ハンドル水栓と比較して



エアインシャワー【オプション】

- ▶ CO₂ 261kg削減
 - ▶ 年間26,053円の節約
 - ▶ 水道代：-8,821円
 - ▶ ガス代：-17,232円
- ※2ハンドルシャワーと比較して



手元止水シャワー【オプション】

- ▶ CO₂ 244kg削減
 - ▶ 年間24,340円の節約
 - ▶ 水道代：-8,241円
 - ▶ ガス代：-16,099円
- ※2ハンドルシャワーと比較して

【設定】 ※1	【使用料金/CO ₂ 換算係数】 ※1	【試算条件】 ※1「省エネ防犯推進アプローチブック」 ※2自社基準
使用人数 : 4人家族 入浴 : 1回/人・日 シャワー : 1回/人・日 追い焚き : 1回/日 年間使用回数 : 365日	電気代 = 22円/kWh CO ₂ 換算係数 = 0.378kg/kWh ガス代 = 165円/m ³ (都市ガス) CO ₂ 換算係数 = 2.31kg/m ³ 水道代 = 265円/m ³ CO ₂ 換算係数 = 0.59kg/m ³	まるごと保温 : 浴室換気乾燥機 (電気式 100Vタイプ、1000Wのシーズヒーター暖房) を10分付けた温度上昇と同じ効果。10分×3回/日削減効果での試算。 ※2 保温浴槽 : 昇温条件=2.5℃昇温 (中間期想定) 水使用量=浴槽容量 (320ℓ) ×お湯張り量 (80%) ※1 ガス使用量=水使用量×ガス消費換算係数 (1.162E・04m ³ /kcal) ×2.5℃昇温 床夏シャワー : 浴室換気乾燥機 (電気式 100Vタイプ、1000Wのシーズヒーター暖房) を1時間付けた温度上昇と同じ効果。 床夏シャワー 1回/日 (水使用量=12ℓ、電力使用量=0.0115kW×0.025h、ガス使用量=444kcal) タッチ水栓 : 水使用量=捨て水 5.9ℓ/回・人+シャワー 8.5ℓ/分×4分/回・人=39.9ℓ/回・人 一時止水シャワー : ガス使用量×ガス消費換算係数 (1.162E・04m ³ /kcal) ×27℃昇温 ※1 LED球照明 : 消費電力0.0064kW×4灯×使用時間0.5h×4人×365日=18.69 ※1 蛍光球照明 : 消費電力0.012kW×2灯×使用時間0.5h×4人×365日=17.52 ※1

[2012トピックス]

2012年12月13日～15日

■ 日本最大級の環境展示会「エコプロダクツ2012」に出展

クリナップは、日本最大級の環境展示会「エコプロダクツ2012」（会場・東京ビッグサイト、会期・2012年12月13日より3日間）に出展しました。クリナップブースのテーマは『キッチンからecoしよう』です。

キッチンを使われる方の視点に立ち、「買い物・ストック・調理・片付け」などキッチンライフ全般において、すぐに実践できるecoアイデアを紹介しました。

また、ボタン1つでフィルターを自動洗浄できる「洗エールレンジフード」を使うと、どれくらい水が節約できるかを体感できるコーナー、食材を上手にローテーションさせ賢くストックする方法をご紹介するコーナーなど、エコの工夫が好評でした。



2013年2月28日

■ 荒川区主催の節電コンテスト「我が社の節電テクニック」で優秀賞受賞



クリナップは、東京都荒川区環境課が主催した事業者の節電テクニックやアイデア等を競うコンテスト「我が社の節電テクニック」で優秀賞を受賞しました。エアコンの設定温度の指定や、社内照明のLED化、各自のパソコンに節電シールを貼った『パソコンシャットダウン運動』などが評価されました。

2月13日に荒川区の環境活動の拠点である「あらかわエコセンター」にて授賞式が行われ、当社の節電活動を推進した総務課が代表して出席しました。

また、これに先立ち荒川区のマスコット・あら坊の訪問をうけ、クリナップの公式キャラクター・クリ夫と総務課 高田課長が、インタビューとともに当社の取り組み内容も具体的に紹介しました。この様子は荒川区環境紙『エコとも vol.8』に掲載されています。

今後も引き続き、「人と自然にやさしい住空間をめざして」いく企業として、社員の意識を高める工夫を凝らし、節電活動を通じて環境保全活動に取り組んでまいります。



【環境コミュニケーション】

■ システムキッチン『クリンレディ』が「ステンレス協会賞」の優秀賞を受賞

2011年6月発売し、好評を得ているステンレスキャビネットキッチン『クリンレディ』は「キッチンオブザイヤー 2011」で「グランプリ・大賞」を受賞し、『クリンレディ』に使われた「NSSC®FW1」はクロムやニッケルなどのレアメタルの含有量を大幅に削減した世界初の画期的なステンレス素材として「第4回ものづくり日本大賞」で内閣総理大臣賞を受賞する栄誉を得ました。

これらに加えて『クリンレディ』は「第14回ステンレス協会賞」で優秀賞も受賞しました。ステンレス協会賞はステンレス協会が1993年より実施し、ステンレスの新規用途開発・普及・社会環境との調和等に貢献した製品を、隔年で表彰する歴史ある賞です。

受賞理由は、これまで高級価格帯に限られていたステンレスキャビネットを中級価格帯に採用し、市場のボリュームゾーンを拡大したこと、そして地球環境のための省資源化や、輸送の軽量化に加え、ステンレスならではのリサイクル性を向上させたことでした。

『クリンレディ』の開発にあたり、省資源の「NSSC®FW1」を採用し、キャビネット構造の全面的な見直しを行って接着剤の使用をほとんどなくし、重量は50%減と半減しました。リサイクル可能だけでなく、運送搬入時の環境負荷を低減する画期的な技術を導入したクリナップの姿勢が評価されました。



・解体しやすいシンプル設計でリサイクルを推進

■ 長寿命と省資源の20年サポートプログラム「smile20」

2007年9月にクリナップは、画期的な顧客サービスを開始しました。20年サポートプログラム「smile20」です。クリナップ製品を愛用されているお客様を、20年間もの長期にわたってサポートし、買った時と同じように使っていただくというサービスです。

水回り設備は、お客様の笑顔のある暮らしを支える「道具」ですが、年月を重ねることで劣化（破損等）してしまいます。そのため日々のお手入れや、定期的な部品の交換等のメンテナンスが必要となります。しかし、お客様はそのタイミングや、メンテナンスが

必要であることを知らされていないため分からず、また、公開しているメーカーもその当時はありませんでした。そこで、クリナップはどこよりも早くお客様へメンテナンスの重要性をお伝えするために「smile20」を公開しました。クリナップの企業理念は「家族の笑顔を創ります」であり、その笑顔を生み出す水回り設備の機能や性能を維持するために重要なのが、お客様の正しいメンテナンスであり、その情報をお客様に提供し、サポートすることは、メーカーとして当然の責務と考えているからです。

クリナップスマイル会員定期点検サービス【5年ごとに定期点検を実施(有料)】

5・10・15・20年後定期点検の主なメニュー(キッチンの場合)

初回点検

ご使用開始から1カ月程度を目安に弊社サービススタッフが訪問し、使い始めてからの疑問や質問に丁寧にお答えさせていただきます。

5年後点検

扉・引き出しの開閉動作をはじめビルトイン機器の動作など、全体をくまなくチェックし、必要に応じて調整を行います。

10年後点検

コンロまわりは性能に影響するセンサーや点火プラグを中心に点検。トッププレートなど部分的なお手入れを実施。

15年後点検

レンジフードの動作確認のほか、ふだんお客さまがお手入れにくい内側のお手入れを行います。

20年後点検

シンクまわりは、こびりついてしまうとなかなか落とすのが難しいカルキ汚れや水アカなどの簡単な除去。

※点検時に交換が必要となった部品については、別途費用がかかります。その際の部品代は10%OFFとなります。



ステンレスのすぐれた性質

クリナップがキッチンの材料としてステンレスを使う理由は、次のような特長を持っているからです。

- 特長その1** さびにくく、熱や薬品にも強い。
- 特長その2** お手入れ簡単。未永く使える耐久性。
- 特長その3** リサイクル率が高く、地球にやさしい。
- 特長その4** 有害なホルムアルデヒドが発生しない。

クリナップの代表的なキッチン、「ステンレス システムキッチンS.S.」や「クリンレディエコキャビ」は、この特長を最大限に生かした製品です。

ステンレスとは

人類にとって鉄は重要な金属であり、文明は石器時代、青銅器時代を経て鉄器時代へと発展してきました。18世紀から19世紀にかけて起こった産業革命以来、鉄の重要性はいっそう高まり、産業にとって不可欠な材料であることから「鉄は国家なり」と言われました。しかし鉄には大きな欠点がありました。さびやすいことです。

この欠点を克服したのがステンレスです。Stain (さび) Less (いっそう少なく) に由来した名称であり、用途によって合金組成、金属組織の異なる多くの鋼種があります。JIS規格でステンレスは「SUS」の略号がつけられており、「サス」と呼ぶこともあります。

建築・土木、エネルギープラント、家電、ガス・石油機器、自動車・二輪車、鉄道車両、船舶と、ありとあらゆる構造物、製品に使われています。

クリナップはこのすぐれた素材に早くから着目し、キッチンの材料としてこだわってきました。



主成分による分類				金属組織による分類
区分	通称名	代表的鋼種	概略組成	
クロム系	13クロム系	SUS410	13Cr	マルテンサイト系
	18クロム系	SUS430	18Cr	フェライト系
クロム・ニッケル系	18クロム8ニッケル系	SUS304	18Cr-8Ni	オーステナイト系
		SUS316	18Cr-12Ni-2.5Mo	



ステンレスがさびにくい理由

ステンレスは鉄を主成分としており、これに約12%以上のクロムを含み、さらに用途に応じてニッケル、モリブデン、銅、チタンなどを配合して作られた合金です。さびにくくなる秘密はこの添加する金属の働きです。鉄にクロムを添加すると、ステンレスの地金の表面に、緻密で強固な酸化皮膜（不動態皮膜）が作られ、鉄の欠点である酸化現象（さび）を防ぐ働きをします。この皮膜は、クロム酸化物が主体のため、酸素あるいは硝酸のような酸化剤に対して強い耐食性を発揮しますが、きわめて薄くまた透明なため、肉眼では識別できません。ステンレスがさびにくい金属といわれる秘密は、この酸化皮膜の働きによるといわれています。



クリナップ株式会社

〒116-8587 東京都荒川区西日暮里6丁目22番22号
TEL.03-3894-4771

問い合わせ先
CS推進本部 品質環境保証部 環境ISO推進課
Eメール kankyuu@cleanup.co.jp

さらに詳しい情報は下記のホームページアドレスから環境報告書をご覧ください。

ホームページアドレス
<http://cleanup.jp/>

チャレンジ
未来が変わる。
日本が変わる。 25

VEGETABLE OIL INK

森の町内会
間伐に寄与する紙
www.mori-no-cho.org

この印刷物に使用している用紙は、森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立ちます。